



降誕後第一主日 2010年12月26日

礼拝案内

十 午前7時30分 聖餐式
 聖歌 82番 94番 102番

十 午前9時15分 子どもと祝うユーカリスト
 聖歌 98番 483番560番 102番

十 午前10時30分 聖餐式
 入堂聖歌 82番
 潔めの祈り 1頁(162頁)
 キリエ 2頁(162頁)

特 祈

全能の神よ、あなたは驚くべきみ業によりわたしたちをみかたちに似せて造られ、さらに驚くべきみ業により、み子イエス・キリストによって、その似姿を回復してくださいました。どうか、主が人性を取って、わたしたちの内に来られたように、わたしたちも主の神性にあずかせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

み言葉

旧約聖書
 イザヤ書 61章10節～62章3節
 詩篇 147編(12-20)
 使徒書
 ガラテヤの信徒への手紙
 3章23節～25節
 4章4節～7節

昇階聖歌 93番

福音書
 ヨハネによる福音書 1章1節～18節

説教 池 司祭
 ニケア信経
 報告
 代禱 12頁(168頁)
 懺悔 13頁(170頁)

聖 餐

平和のあいさつ 15頁(171頁)
 奉獻聖歌 102番
 感謝・聖別 16頁(172頁)
 主の祈り・パン裂き 24頁(180頁)
 近づきの祈り・神の小羊の歌 26頁(181頁)
 陪餐聖歌 268番
 感謝の祈り 28頁(182頁)
 祝福
 退堂聖歌 378番
 派遣の宣言
 ハレルヤ 主とともに行きましょう
 ハレルヤ主によって アーメン

詩篇147編(12-20)

- 12 エルサレムよ、主をほめよ シオンよ、神をたたえよ
- 13 神はあなたの門のかんぬきを堅め その中に住む子らを祝福される
- 14 神は国々に平和をもたらし よい麦であなたを養われる
- 15 神は地に向かって仰せになり み言葉はすばやく走る
- 16 神は羊の毛のように雪を降らせ 灰のように霜をまかれる
- 17 神は氷をパンくずのように落とされる だれがその寒さに耐えられよう
- 18 神はみ言葉を遣わして、これを溶かし息を吹きかけられると、水が流れる
- 19 神はみ言葉をヤコブに知らせ 定めとおきてをイスラエルに告げられる
- 20 神はほかの国民にはそうされず 彼らはそのおきてを知らない、ハレルヤ

今週の礼拝奉仕者

12月26日

来週の礼拝奉仕者

1月2日

午前 7時30分

旧約聖書 山越伊都子さん
 使徒書 寺田紀子さん
 オルガン 早川淑子さん
 オルター 石川光子さん 小泉 妙さん
 藤波果歩さん

午後13時30分 ユーカリスト

オルガン 早川淑子さん

午前10時30分

旧約聖書 張替富江さん
 使徒書 田中棋一郎さん
 ブレッド 佐藤三重子さん
 クルエット 斉藤美代子さん
 オルガン 堀江眞理子さん
 アッシャー 青木信子さん 黒瀬恵子さん
 オルター 竹田和子さん 大川俊子さん
 代祷奉仕者 小野 尚さん
 礼拝当番 八木治人さん

午前 7時30分

旧約聖書 石垣善隆さん
 使徒書 石垣直子さん
 オルガン 西川華織さん
 オルター 石川光子さん 小泉 妙さん
 藤波果歩さん

午後13時30分 ユーカリスト

オルガン 西川華織さん

午前10時30分

旧約聖書 倉辻明男さん
 使徒書 さん
 ブレッド 稲葉暁子さん
 クルエット 郷司幸子さん
 オルガン 早川淑子さん
 アッシャー 古川和代さん 倉辻明子さん
 オルター 大川俊子さん さん
 代祷奉仕者 小野 尚さん
 礼拝当番 倉辻明男さん

今週の代祷**逝去記念**

22日 マリア池幸子
 26日 マリヤ野口 緑 エリサベツ土師たま
 白井義男
 27日 井上シズ ナオミ中村かね 佐藤あい
 ヤコブ中原孝一 マリア竹田三枝
 28日 アンデレ小笠原洋三 ヨセフ栄谷藤一郎
 プリスカ三国リン
 29日 多田 登 クララ桜井良子 リチャード小
 林荘之助
 30日 司祭ステパノ奥村 亮
 31日 ヴィンセント川田久雄 ミカエル島本信二
 末永かね ヘレン吉野君代 ヨハネ高橋 謙
 1月 ステパノ久米秀治 パウロ大野吉太郎
 1日 シリル辻井秀夫 田中樞吉 ヨセフ松方正信

東京教区の諸教会・諸活動

26日 聖パトリック教会 八王子復活教会
 聖公会八王子幼稚園
 27日 聖マルコ教会 小金井聖公会
 滝乃川学園聖三一礼拝堂 滝乃川学園
 28日 小笠原聖ジョージ教会 柏聖アンデレ教
 会 東関東教会協議会
 29日 教区モニカ会 教区GFS
 現職・退職教役者のご家族
 30日 それぞれの教会の牧師・管理牧師・
 副牧師・牧師補・伝道師・囑託の奉仕
 31日 それぞれの教会の教会委員会・信徒奉事
 者・信徒の奉仕
 1日 教区主教とすべての聖職信徒、東京教区

教区会、常置委員会

2日 聖アンデレ主教座聖堂・同理事会・
 同活動委員会 教区事務所 教区監事
病のうちにある方を覚えて

奈良橋由香さん 小林恭子さん 山田泰子さん
 大熊松子さん 三浦正子さん 張替由美子さん
 国頭奈保美さん 早崎恵子さん 岡垣信男さん
 細貝ナホさん 桑田静江さん 杉山一枝さん
 平田源助さん 一原久枝さん 遠山明子さん
 日高幸子さん 吉田克さん 大場健一さん
 青木清治さん 石谷貞子さん 影山幸枝さん
 戸田雄介さん 稲原輝雄さん 寺本芳子さん
 本間 彬さん 澤田貞子さん 駒野寿恵夫さん
 ビル・ハーゲット司祭 宮崎則行さん

世界の諸教会、聖公会の働き

- ・メリーランド教区(ユージン・テイラー・サットン主教)の諸教会
- ・エルサレム教区(スヘイル・ダワーニ主教)の諸教会
- ・アオテアロア・ニュージーランド・ポリネシア聖公会のため
- ・NCC神学、宣教委員会のため
- ・自然災害の被災者のため 中国、チリやハイチ、パキスタンでの地震、大洪水、戦争混乱のために家や家族を失った被災者
- ・紛争混乱の中にある国々地域の日も早い解決のため。パレスチナと朝鮮半島の平和の解決のために
- ・東京教区管理主教ゼルバベルと後継主教アンデレのため

今週・来週の予告

本日 13時 主日礼拝清掃準備
17時 夕の礼拝
27日(月) 7時30分 聖餐式
15時 納骨式(青山)
28日(火) 7時30分 聖餐式
29日(水) 10時30分 聖餐式
30日(木) 7時30分 聖餐式
31日(金) 7時30分 聖餐式
1日(土) 主イエス命名日
7時30分 聖餐式
10時30分 聖餐式
礼拝後祝会を行います
1月2日(日) 降誕後第二主日
午前7時30分 聖餐式
聖歌 357 366 356
午前9時15分 子供と祝うユーカリスト
聖歌 101 483・560 102

午前10時30分 聖餐式
聖歌 357 106 366 356 100
旧約聖書 エレミヤ書 31章7節~14節
詩篇 84編1~9
使徒書 エフェソ書 1章33~6、15~19
福音書 マタイによる福音書
2章13~15、19~23
17時 夕の礼拝

12月の信施奉献先

世界エイズデーのため(12月1日)
聖書の主日
(降臨節第2主日・12月5日)のため
野宿生活者支援のため
浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため

おしらせ

22日、マリア池幸子さん(104)が帰天されました。24日に葬儀が行われました。靈魂の平安とご遺族に主の慰めが与えられますようにお祈りください。

2011年度の教会委員選挙及び教区会信徒代議員選挙の結果、以下の方が当選されました。教会委員は(任期二〇一一年一月から二〇一二年)小野 尚さん、黒瀬晶郎さん、鈴木

茂さん、林 圭介さん、松村信子さん、三好忠彦さん、村田信子さん、次点は石垣善隆さん、古川真知子さん、和田道子さん。教区会信徒代議員は(任期二〇一一年一月から一〇一二年)黒瀬晶郎さん、倉辻明男さん、三好忠彦さん、次点は小野尚さん、片岡大造さん、鈴木 茂さん 林 圭介さんです。教会の奉仕のために聖霊の導きをお祈り下さい。第一回の教会委員会は1月9日です。

浅草路上生活者支援ではボランティアを募集しています。米研ぎ、米炊き、配送の仕事があります。ご協力ください。毎週200食を届けています。一年に一度で構いません。お手伝いいただけませんか。詳しくは藤波さん鈴木茂さんまで。

お願い 主日準備のための土曜日のお掃除は原則として毎週3時から行っています。皆様の御協力をお願いします。ホールの当番表に名前をお書きください。またクリスマスの準備のために様々な奉仕があります。積極的に参加してください。

渋谷給食支援からのお願い 皆さまのご家庭にうずもれているテレフォンカード、図書カードなど使いさしでも構いません。(残量があれば可)集めています。牧師まで。詳しくはボランティアコーナーで。

クリスマスシーズンに自宅、病床での聖餐を希望するかたはお申し出下さい。牧師と日程の調整をして、いつでも自宅、病床での聖餐を行うか、聖体を持参します。

神のお許しがあれば、司祭アンデレ大畑喜道の主教按手式並びに日本聖公会東京教区主教就任式を下記の通り執行いたします。主にある兄弟姉妹、ことに日本聖公会に属する聖職、信徒の代禱を求めます。日本聖公会首座主教ナタナエル植松誠

日時 2011年2月11日(金)午後1時 場所 香蘭女学校

司式 首座主教ナタナエル植松 誠 説教 主教ヨハネ加藤博道

植田主教のご退任にあたり、感謝募金をすることになりました。教会としても行いますが、個人的になさる場合は受付の用紙でまたは下記の要領で直接振り込んでください。郵便局をご利用の場合 郵便振替口座番号：00130-8-17483

口座名義：日本聖公会東京教区 銀行をご利用の場合 三菱東京UFJ銀行 六本木支店 普通預金店番：045 口座番号：0995723 口座名義：宗教法人日本聖公会東京教区 代表役員 植田仁太郎

本日の福音を理解するために

ヨハネはイエスの誕生をこのように皆に知らせています。「言は肉となって、私たちの間に宿られた。私たちはその栄光を見た。」キリストの誕生は神の言が肉を受け、人になってこの世の中へ来られた。その方は神と全く同じ方で、この世を創造した。その言は世の中の生命であり、世の中を照らす光です。その言が人間の生命になって私たちと一緒におられる。だから私たちは小さな赤んぼうイエスの中に神の生命が宿っていて、神の光に照らされていることに感謝しなければなりません。神が人と一緒に暮そうと人になって私たちの中に来られた。世の中と人を救うために私たちを尋ねて来られた深い神の愛にもう一度感謝します。私たちが仕事にくたびれて苦しんでいる時、あらゆる生活苦で気落ちして勇気を失う時、精神的にも心が渇く時、神は自ら私たちの力になってくださるために、道になってくださるために来られました。これが今日私たち皆のクリスマスの喜びです。

キリストの誕生は私たち神を信じる者には勿論、神が分からないとか信じない人々にも嬉しい知らせです。すべての被造物の嬉しい知らせです。「神が人間になってこの世の中へ来られた。」すなわち見えなかった神が見える神になって、この世の中へ来られた。絶対的な存在が相対的な存在になった、無限の存在が有限な存在になって世の中へ来られた。このことをキリスト教では受肉と言います。この受肉の神秘こそが降誕の核心であり、それはキリスト教の一番重要な信仰の核心になります。人になった神。これを信じるのが私たちの信仰です。それならどうして神が人になってこの世の中へ来られたのでしょうか？

教会は受肉についてこう説明しています。まず第一は人間を神と和解させて救うため。イスラエルの民たちは神が選んだ民です。彼らは神の祝福の中で生きなければならない民であると同時にその祝福をこの世界の全人類のものとしなければならないのです。しかし彼らは自分たちだけの神、自分たちのみを救ってくださる神と思って自分の枠の中に閉じこめました。これは神の御心ではありません。人間の考えと意志で神に近付こうとすることがイスラエル民たちの考えでした。結果、彼らはますます神から遠ざかるだけでした。神は人間が御自分のところに来るのを待たないで神から親しく人間に近付こうとなさいました。第二に人間が神の愛を知るようにするためです。幼子のイエスから知ることができる神の愛は何か？それは自分を低める愛です。人間の尺度に合わせて神の愛を見せてくださった。救世主の誕生は自分自身を限りなく低めることで人類を救おうとなさった神

の無限の愛と謙遜を現わす出来事です。この愛は自分を犠牲にする愛です。イエスは、人類が永遠の命を得るために十字架の上で死なれます。神がご自身の御子を私達人間に与える愛、これが馬小屋のまぐさ桶の上に横になった赤んぼうイエスを通じて見せてくれた神の愛です。親の愛は自分を与える愛、犠牲の愛です。それよりもっと大きい愛が神の愛です。私たちはまさにこの愛を受けて生きています。私たちもこの愛を現わさなければなりません。第三に人間を神と同じ本質にもどすためです。有限の存在である私たちはイエス・キリストを通じて神の永遠の命をいただきます。有限の存在が無限の存在に変化して行くことができるという希望を私たちはこの降誕に見なければなりません。神の言が人間になったということは古代神話や伝説のように神的存在が一時的に人間の形を取り、神でいることをやめたということではありません。

聖アウグスチヌスは受肉を説明するためにこんなことを言いました。「人が神になるように神が人になったのである」だから降誕の神秘は神が人になることで人間は神の本質をもち、神化されたということであり、これはすなわちイエスの誕生を通じて人が神の子として新しく生まれ変わるようになったということを意味する。そしてこれが人類の救いで、神に許される永遠の命の道に進む手始めの出来事となります。

今日イエスはまぐさ桶に横たわれました。神は非常に無力で弱い立場の幼い赤んぼうの姿で私たちの世界に来られました。神が何もできない無力の赤んぼうの姿で世の中を救いに来られたのです。愚かな人間の知恵では絶対に考えられません。しかし私たちはこの無力な赤んぼうが人類の救い主と信じてその前にうやうやしくひれふして拝みます。幼子の純粋で無邪気な姿と無力な弱い赤んぼうを見ている人の心、これは神が私たち人間を創造なさった時、初めにくださった人間本来の善良な心です。神は幼い赤んぼうになって私たちが本来持っていた純粋な心、幼き者をいとおしんで愛する心を取り戻してくださろうとします。このような心は私たちの心に積もっている憎しみと怒り、恨みと暴力、戦争と死を遠ざけて許しと仲直り、非暴力と平和、愛と生命を芽生えさせます。神は私たちが自分の犯した罪で傷ついた心乗り越えて、また新しく生きるように勇気をくださいます。この勇気によって私たちはこの地上で神様の国を作り上げていかなければなりません。幼子イエスが私たちに希望と救いの手を差し伸べておられることを私達が信じたとき、神の救いは私たちの中で実現し、神の国がこの地上で築かれます。キリストとの出会い力強く生きましょう。(池司祭)